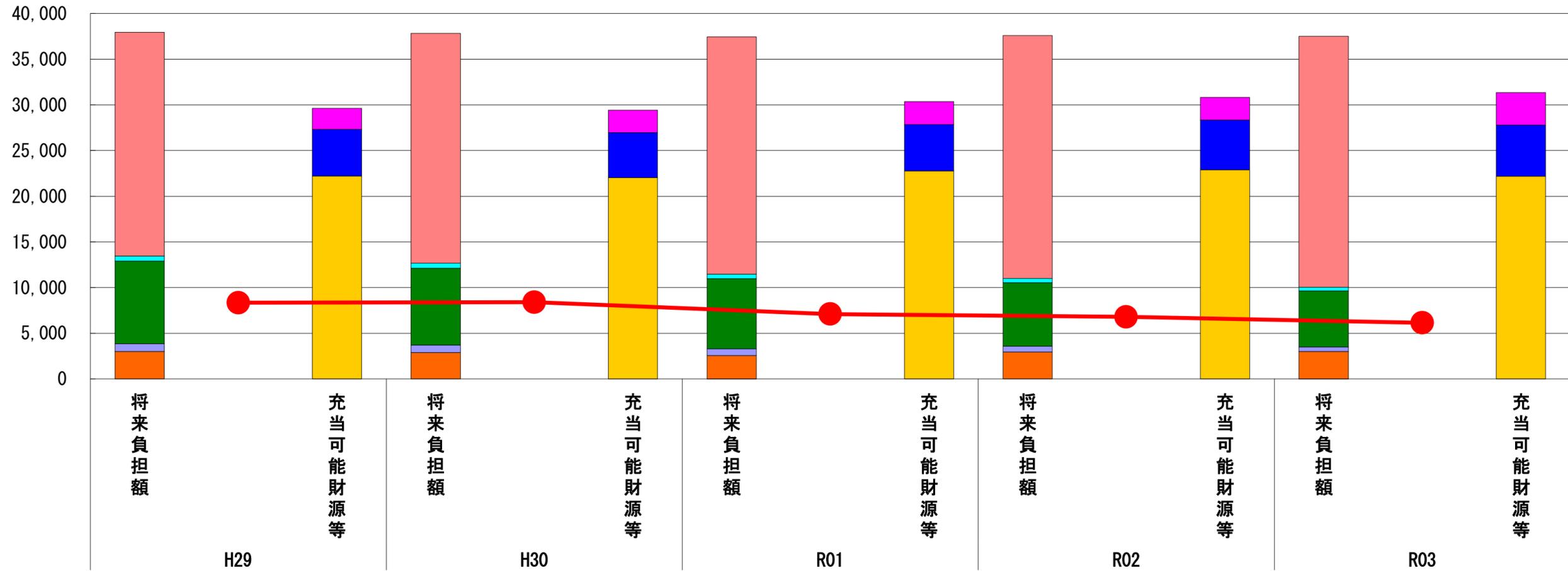


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

岡山県笠岡市

(百万円)



分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		24,483	25,144	25,956	26,613	27,449
	債務負担行為に基づく支出予定額		570	547	510	457	419
	公営企業債等繰入見込額		9,051	8,419	7,674	6,941	6,123
	組合等負担等見込額		849	823	720	655	502
	退職手当負担見込額		2,991	2,879	2,562	2,936	2,993
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	7	-	1
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,295	2,438	2,495	2,485	3,577
	充当可能特定歳入		5,119	4,939	5,070	5,440	5,607
	基準財政需要額算入見込額		22,198	22,038	22,774	22,885	22,165
(A) - (B)	将来負担比率の分子		8,333	8,397	7,092	6,792	6,138

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高については、借入金の一括償還や継続的な市債借入額の制限を行っているが、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業や大規模なハード事業が続いていること、臨時財政対策債の残高が積み上がってきたことにより増加している。

一方、公営企業債等については主に下水道事業の公害防止対策事業の償還が減少しているため、減少傾向にある。

現状、将来負担比率の分子は減少傾向にあるが、地方債残高が増加傾向であることや、要素に留意し、今後も事業実施の適正化を図り、財政の健全化に努める。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。